

参考データ集

国際石油開発帝石株式会社

2013年(平成25年)11月8日

連結子会社および持分法適用関連会社

連結子会社 61社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
ナトゥナ石油	インドネシア	100%	生産中	3月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	3月(仮決算)
インペックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インペックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	生産中	3月(仮決算)
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	12月
INPEX Gas British Columbia Ltd.	カナダ	45.09%	生産中/評価中	12月

持分法適用関連会社 18社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
Angola Block 14 B.V.	アンゴラ	49.99%	生産中/開発中	12月
インペックス北カンボス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	66.07%	開発中	3月(仮決算)

セグメント情報

2014年3月期第2四半期(2013年4月1日～2013年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高	52,099	238,430	54,106	300,879	4,961	650,478	—	650,478
セグメント利益又は損失(△)	6,340	117,026	26,258	203,715	△4,145	349,195	△4,961	344,234

(注)1 セグメント利益の調整額△4,961百万円は、セグメント間取引消去113百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,074百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

LPG売上高

	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	14年3月期第2四半期 (2013年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	144	108	△36	△25.1%
販売量(千bbl)	2,154	1,462	△692	△32.1%
海外生産分平均単価 (\$/bbl)	80.80	75.74	△5.06	△6.3%
国内生産分平均単価 (¥/kg)	119.37	93.44	△25.93	△21.7%
平均為替(¥/\$)	79.40	97.84	18円44銭 円安	23.2%円安

地域別販売量(千bbl)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	14年3月期第2四半期 (2013年4月-9月)	増減	増減率
日本	131 (12千ト)	4 (0千ト)	△127 (△12千ト)	△97.2%
アジア・オセアニア	2,023	1,459	△565	△27.9%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	2,154	1,462	△692	△32.1%

3

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	14年3月期第2四半期 (2013年4月-9月)	増減	備考
純利益	111,382	80,080	△31,301	P/L
少数株主利益	4,152	207	△3,944	P/L
減価償却相当額	55,652	58,241	2,589	
減価償却費	25,968	23,958	△2,009	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	-	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	26,304	30,903	4,598	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	9,580	17,714	8,134	
探鉱費	4,090	16,678	12,587	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金操入額	3,239	416	△2,822	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
探鉱事業引当金操入額	2,251	620	△1,630	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	10,791	48,624	37,833	
法人税等調整額	12,031	42,584	30,553	P/L
為替差損益	△1,240	6,040	7,280	C/F
税引後ネット支払利息	△1,686	△5,121	△3,435	P/L 税引後の支払利息一受取利息
EBIDAX	189,871	199,745	9,874	

4

生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	14年3月期第2四半期 (2013年4月-9月)
生産物回収勘定(期首)	568,318	590,565
増加:		
探鉱投資	7,143	15,462
開発投資	61,196	84,414
操業費	25,472	35,242
その他	2,265	6,340
減少:		
コスト回収(CAPEX)	26,304	30,903
コスト回収(Non-CAPEX)	50,141	64,158
その他	26,678	-
生産物回収勘定(期末)	561,271	636,963
生産物回収勘定引当金	100,801	119,248

5

2014年3月期 販売量・投資額(予想)

INPEX

2014年3月期予想		5月10日時点	11月7日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) ¹	83,744	82,507	△1,237	40,578
	天然ガス (百万cf) ²	318,915	324,304	5,389	159,671
	うち海外分	251,589	258,290	6,701	130,276
	うち国内分	67,326 (1,804百万m ³)	66,014 (1,769百万m ³)	△1,312 (△35百万m ³)	29,395 (788百万m ³)
	LPG (千バレル) ³	2,211	2,881	670	1,462

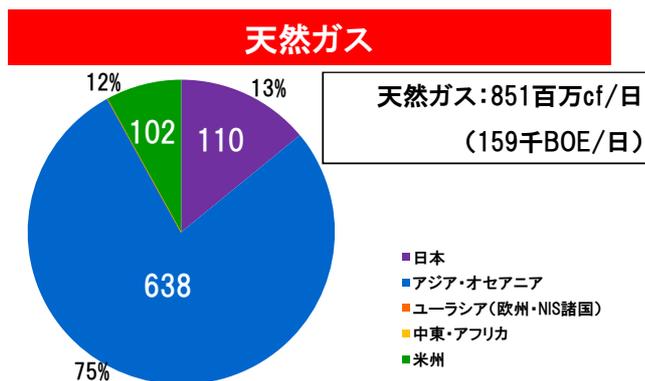
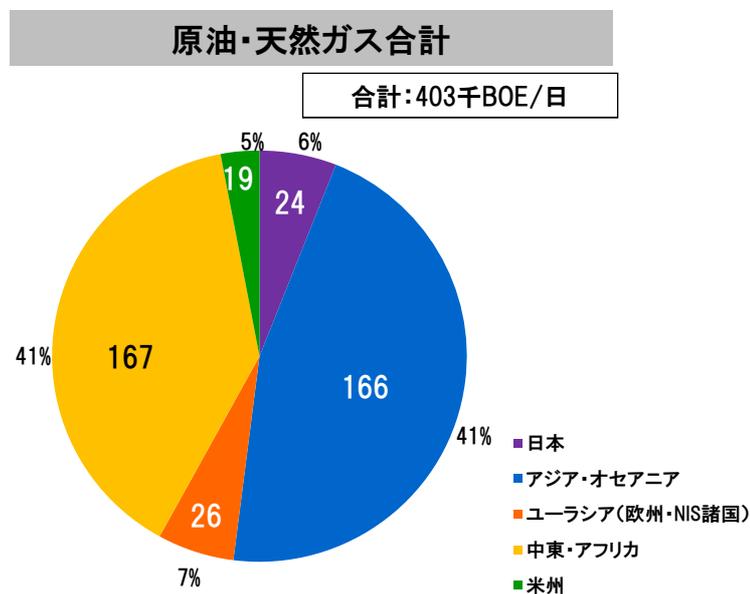
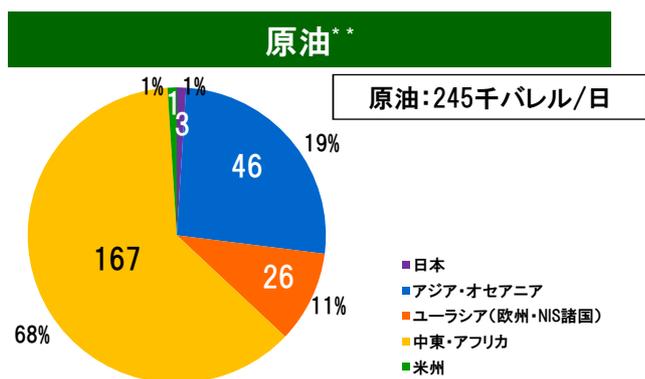
開発投資額 ⁴ (億円)	10,030	10,100	70	4,376
その他設備投資額 (億円)	370	470	100	175
探鉱投資額 (億円)	910	840	△70	298
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 367 探鉱関連引当額 142 509	探鉱費 322 探鉱関連引当額 143 465	△44	探鉱費 166 探鉱関連引当額 10 176
うち少数持分負担額 ⁶ (億円)	170	142	△28	75

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用
 4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額
 6 少数株主による増資見合い分等

6

生産量*(2013年4月-9月)

INPEX

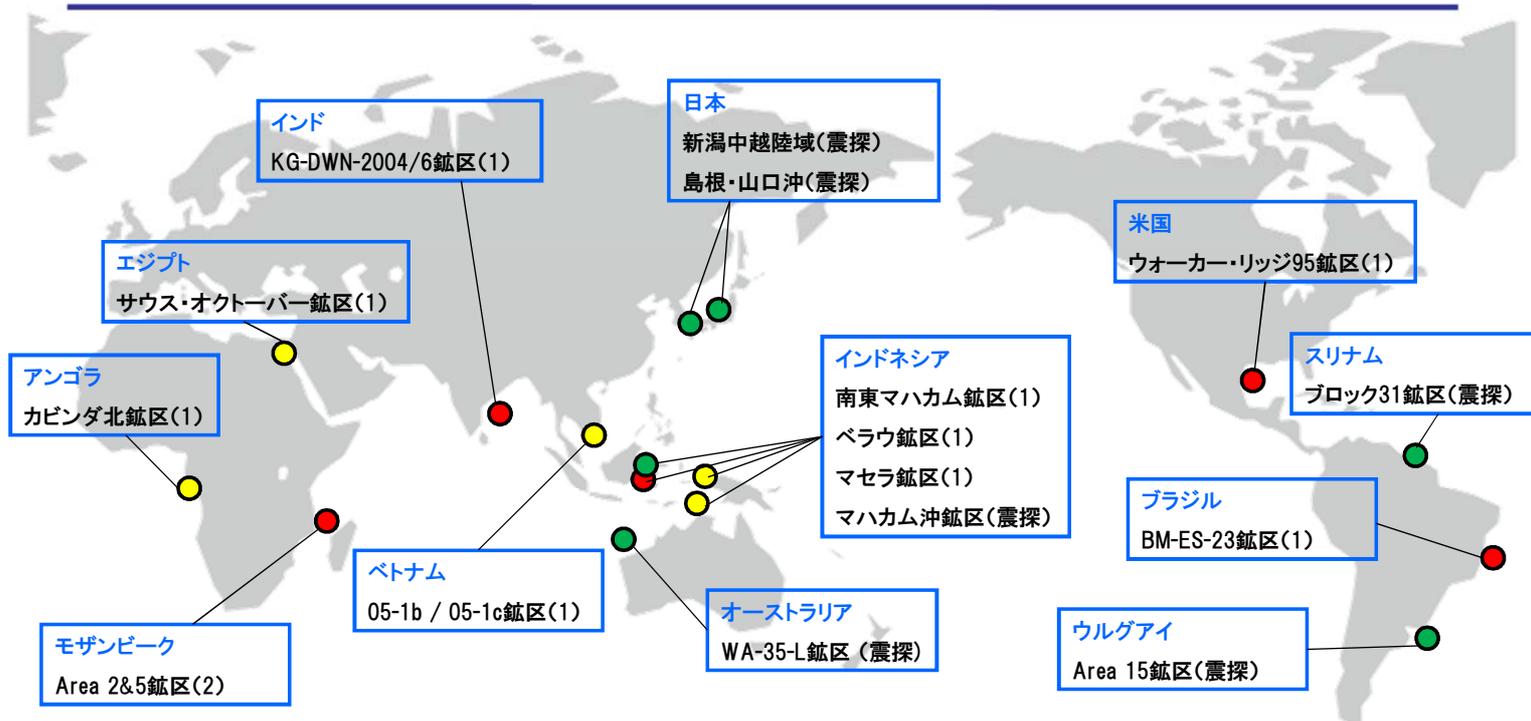


* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。
 ** 原油には、コンデンサート及びLPGを含みます。

7

プロジェクト参考データ

探鉱実績(2013年9月末時点)*

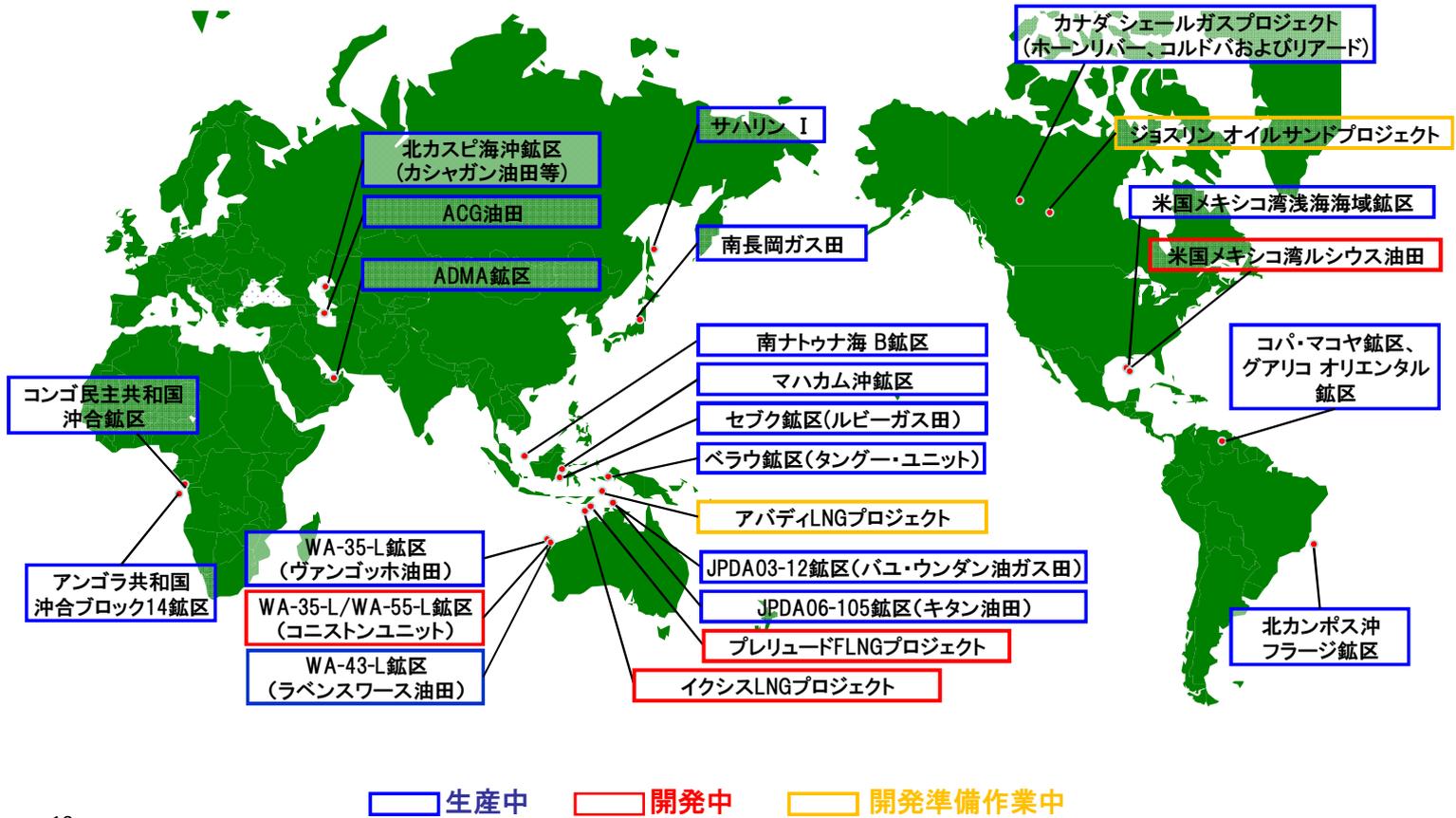


* ()内の数字は掘削坑井数

- 試掘井
- 探掘井
- 震探

	探鉱投資額 (億円)	試掘井 (坑)	探掘井 (坑)	2D震探 (km)	3D震探 (km ²)
2014年3月期(計画)	910	17	9	100	10,246
うち作業中・作業済	840	6	5	100	8,046

主な生産・開発プロジェクト



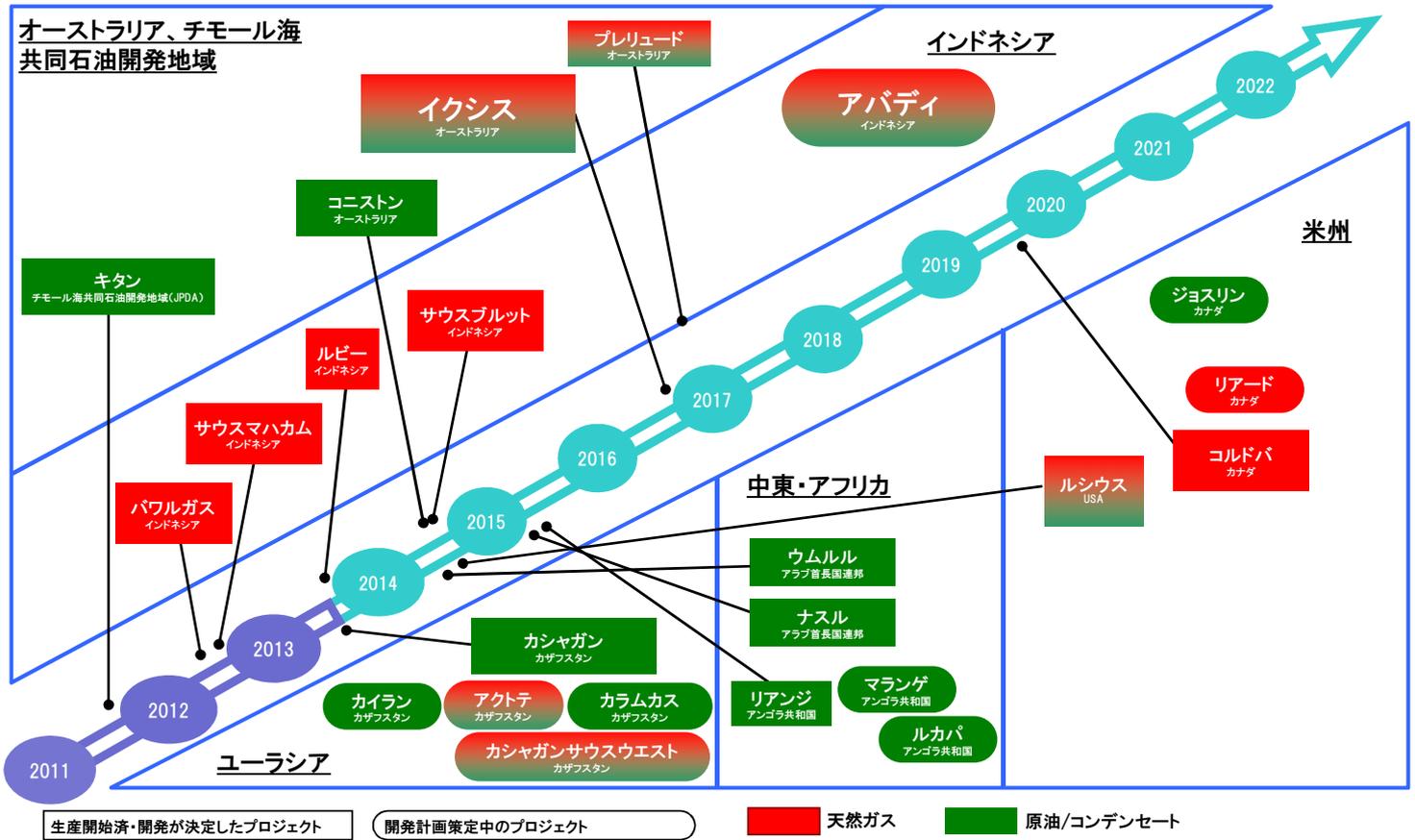
10

生産開始スケジュール(1/2)

生産開始	プロジェクト・油ガス田	国	オペレーター	ピーク生産量・生産キャパシティ	当社シェア*1
2013年度(2013年4月~2014年3月)	カシャガン油田(Phase1) ルビーガス田(セブク鉱区)	カザフスタン インドネシア	NCOC PEARLOIL	37万bbl/日 100MMscf/日	7.56% 15%
2014年度(2014年4月~2015年3月)	ウムルル、ナスル油田 コニストンユニット メキシコ湾ルシウス油田(原油) (天然ガス) サウスブルットガス田(南ナトゥナ海B鉱区)	アラブ首長国連邦 オーストラリア 米国 インドネシア	ADMA-OPCO Apache Anadarko ConocoPhillips	- *3 - 約8万bbl/日 約450MMscf/日 - *3	12.0% 47.499% 7.2% 35%
2015年度以降(2015年4月以降)	リアンジ油田 シェールガスプロジェクト(コルドバ地域) イクシスLNGプロジェクト(LNG) (LPG) (コンデンセート) プレリユードFLNGプロジェクト(LNG) (LPG) (コンデンセート) アバディLNGプロジェクト(1)(LNG) (コンデンセート) ジョスリンオイルサンドプロジェクト(露天掘り)	アンゴラ カナダ オーストラリア オーストラリア インドネシア カナダ	Chevron Nexen 当社 Shell 当社 TOTAL	約2万bbl/日 約1,250MMscf/日*4 840万ト/年 約160万ト/年 約10万bbl/日 360万ト/年 約40万ト/年 約3.6万bbl/日 250万ト/年 8,400bbl/日 20万bbl/日	9.99%*2 40% 66.07% 17.5% 60% 10%
既発見・生産開始未定	カイラン/アクトテ/カラムカス/カシャガンサウスウェスト構造 シェールガスプロジェクト(リアード地域) ルカバ油田、マランゲ油田	カザフスタン カナダ アンゴラ	NCOC Nexen Chevron	未定 未定 未定	7.56% 40% 9.99%*2

*1 当社シェアは、鉱区権益比率。ただし、持分法適用関連会社分は、鉱区権益比率に当社出資比率を乗じたもの
 *2 リアンジ油田はアンゴラ・コンゴ両共和国間のユニタイス鉱区内に位置し、当社シェアは表記の1/2
 *3 プロジェクトパートナー各社との守秘義務上、公開不可
 *4 Horn RiverエリアとCordovaエリアを合わせたピーク生産量

生産開始スケジュール(2/2)



国内天然ガス事業

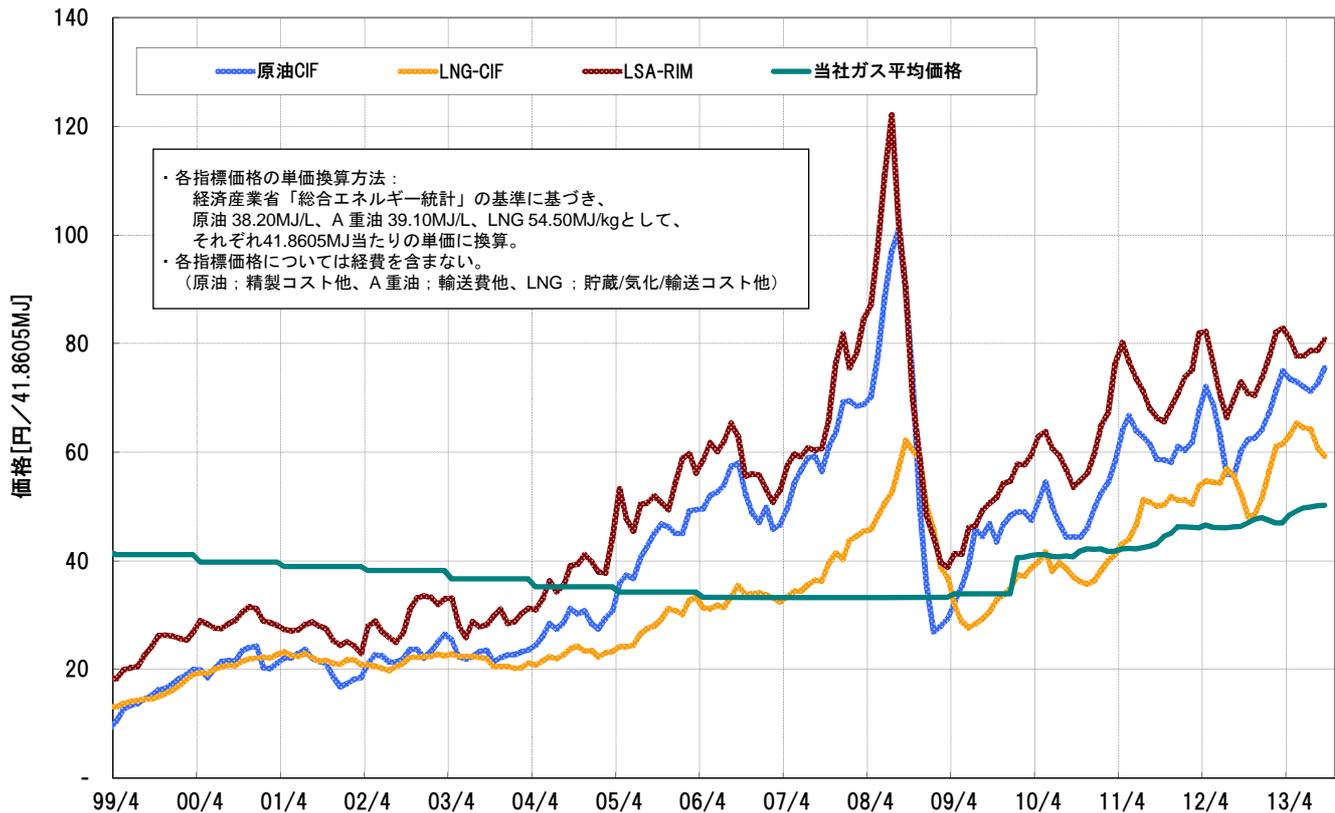


- 生産量*
 - ・ 天然ガス: 約3.0百万m³/日 (110百万cf/日)**
 - ・ 原油・コンデンセート: 約3千バレル/日
- 天然ガス販売状況
 - ・ 2013年3月期販売量: 17.5億m³**
 - ・ 2014年3月期販売量見通し: 18.0億m³**
 - ・ 2020年代前半に25億m³、長期的に年間30億m³の供給見通し
- ガスサプライチェーンの構築
 - ・ 2011年5月、富山ラインの建設を決定
 - ・ 直江津LNG基地の建設 (2014年1月商業運転開始予定)

* 国内油田・ガス田の合計(2013年4月~9月平均日産量)
** 1m³当たり41,8605MJ換算

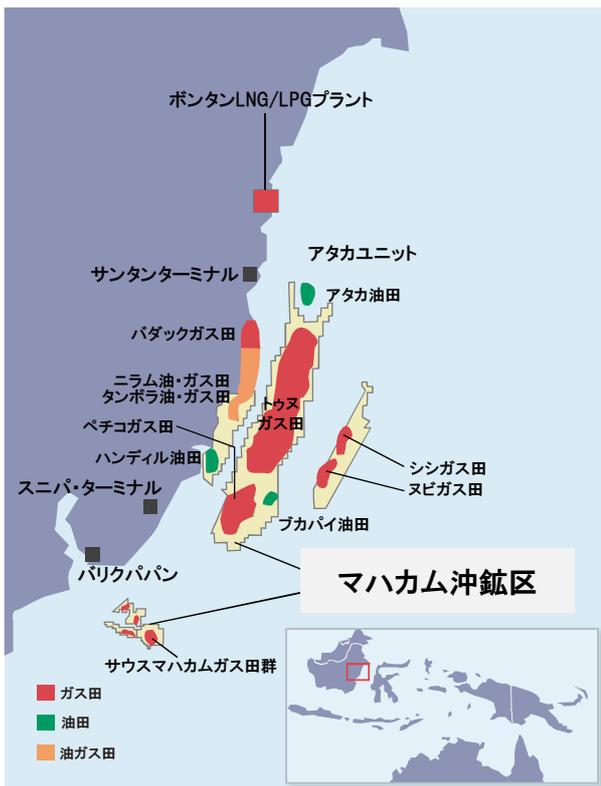
国内天然ガス価格

単位あたりの価格の比較



マハカム沖鉱区

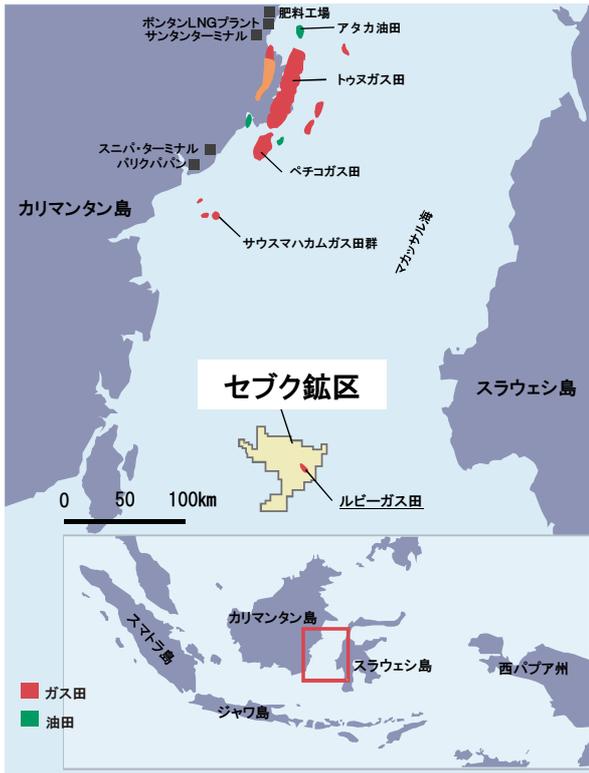
国際石油開発帝石



- 当社権益比率: 50%
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量*
 - ・原油・コンデンサート: 日量約6.9万バレル
 - ・LPG: 日量約9千バレル
 - ・天然ガス: 日量約13.7億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
 - ・トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
 - ・シシ/ヌビ ガス田の開発
 - ・サウスマハカムガス田の開発作業実施
- 2012年4月、西ジャワ洋上LNG受入基地へ新規にLNG供給を開始。
- 2012年10月末、サウスマハカムガス田より生産開始。
- PS契約の更新に向けTOTALとともにインドネシア当局と交渉継続中

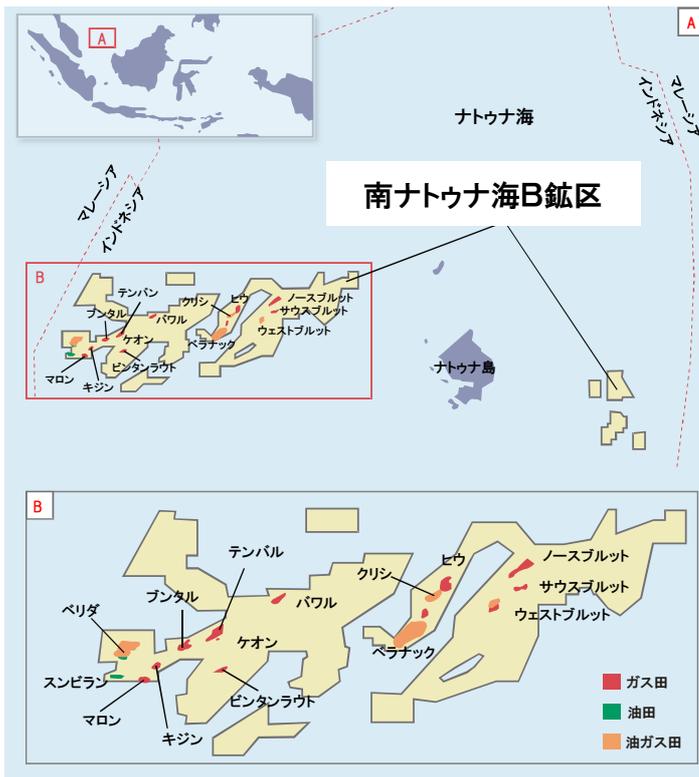
* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

セブク鉱区(ルビーガス田) 南マカッサル石油



- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: PEARLOIL (Mubadala))
- PS契約: 2027年まで
- 2008年7月、インドネシア政府よりルビーガス田の開発計画が承認
- 2010年8月、オペレーターであるPearl Energyと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得(当社15%権益取得)
- 2011年6月、開発移行決定
- 海上生産施設よりマハカム沖鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込み
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給
- 2013年10月、生産開始

南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油



- 当社権益比率: 35.0%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*:
 - ・ 原油・コンデンセート: 日量約3.0万バレル
 - ・ LPG: 日量約1.1万バレル
 - ・ 天然ガス: 日量約3.3億立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 2012年7月、バワルガス田の生産開始
- 2014年第2四半期、サウスブルットガス田の生産開始予定

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



-MI Berau/MIベラウジャパン*:
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)

*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資

-権益比率:

- ・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%
- ・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット 8.56%
(オペレーター:BP)

-生産量*

- ・コンデンセート: 日量約6千バレル
- ・天然ガス: 日量約11.1億立方フィート

-PS契約: 2035年まで

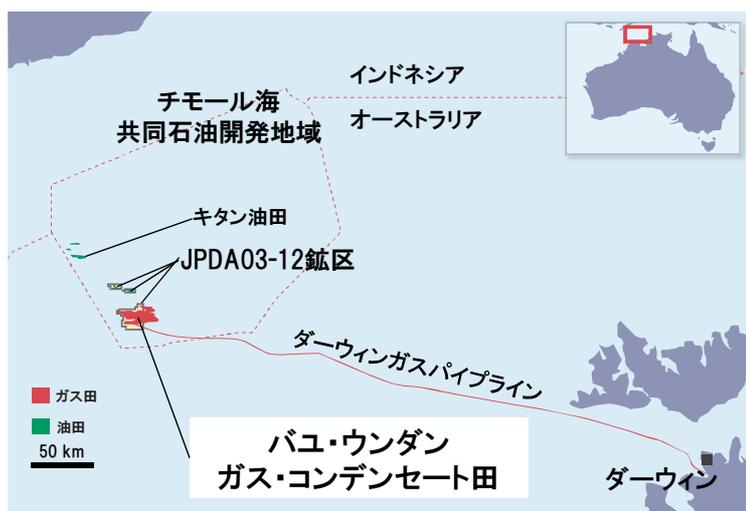
-生産計画: 年間760万トン

-2009年7月、LNG船第1船出荷

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

バユ・ウンダン ガス・コンデンセート田(JPDA03-12鉱区) サウル石油

INPEX



- 当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)

- 生産量*

- ・コンデンセート: 日量約3.7万バレル
- ・LPG: 日量約2.3万バレル
- ・天然ガス: 日量約5.6億立方フィート

- PS契約: 2022年まで

- 2004年2月、コンデンセート/LPG販売開始

- 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)

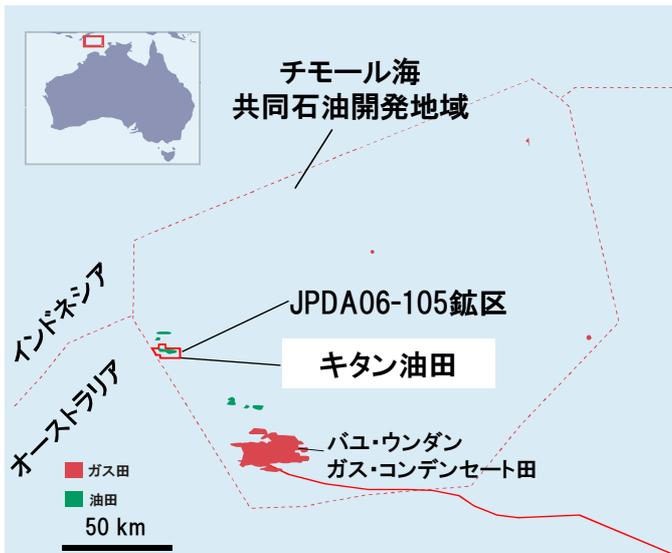
- 2006年2月、LNG販売開始

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

キタン油田(JPDA06-105鉱区)

インペックスチモールシー

INPEX



- 当社権益比率: 35%
(オペレーター: Eni)
- PS契約: 2035年4月まで(キタン油田)
- 2008年5月、キタン油田商業発見宣言
- 2010年4月、キタン油田の最終開発計画に対し共同管轄当局の承認取得
- 2011年10月、生産開始
- 生産量*: 原油: 日量約1.2万バレル

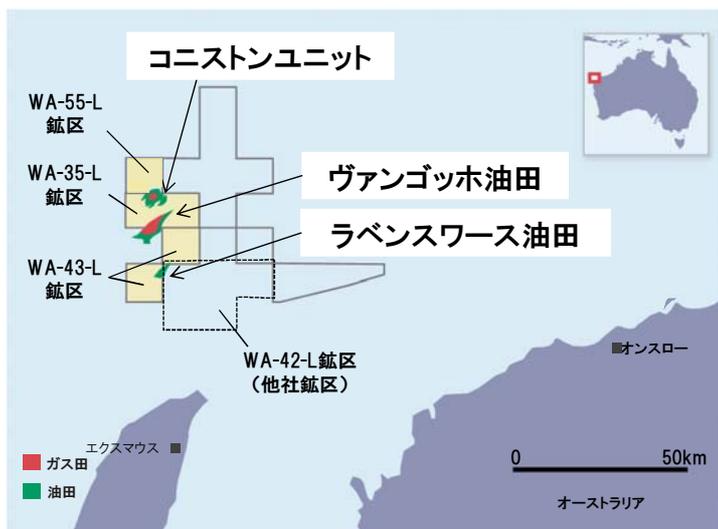
* 2013年9月平均日産量

20

ヴァンゴッホ油田、コニストンユニット及びラベンスワース油田

アルファ石油

INPEX



ヴァンゴッホ油田/コニストンユニット(WA-35-LおよびWA-55-L鉱区)

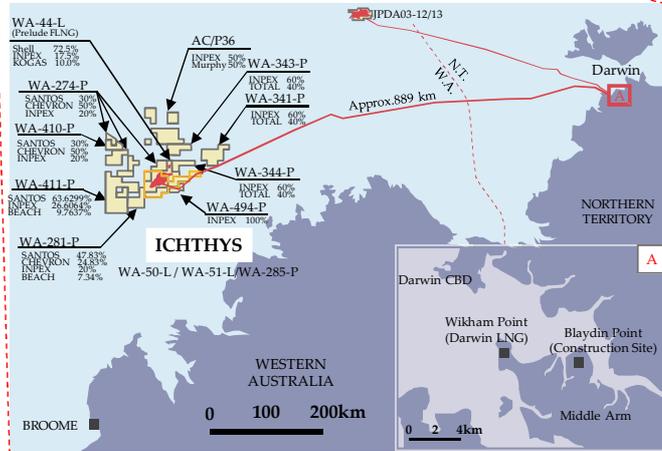
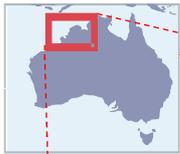
- 当社権益比率: 47.499%
(オペレーター: Apache)
- 利権契約(2008年10月生産ライセンス取得)
- ヴァンゴッホ油田: 2010年2月原油生産開始、生産量*: 原油: 日量約1.3万バレル
- コニストンユニット: 2014年第2四半期原油生産開始予定、当初1年間の平均日産量: 原油日量19,600バレルを予定

ラベンスワース油田(WA-43-L鉱区)

- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 利権契約(2009年11月生産ライセンス取得)
- 隣接するWA-42-L鉱区の実験施設への繋ぎ込みによる開発
- 2010年8月生産開始
- 生産量*: 原油: 日量約1.0万バレル

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

21



- 2012年1月13日、最終投資決定(FID)を発表
- 2016年末までに生産開始予定
- 生産量: LNG 年間840万トン(日本のLNG年間輸入量の約1割)、LPG 年間約160万トン、コンデンセート 日量約10万バレル(ピーク時)
- 埋蔵量: プロジェクトライフ40年。年間840万トンのLNGを約20年の長期にわたり生産可能(以降緩やかに減少)。豊富なLPG、コンデンセート有。確認埋蔵量約10.3億* BOE
- 権益比率: 当社66.07%**、TOTAL30.0%、東京ガス1.575%、大阪ガス1.200%、中部電力0.735%、東邦ガス0.420%

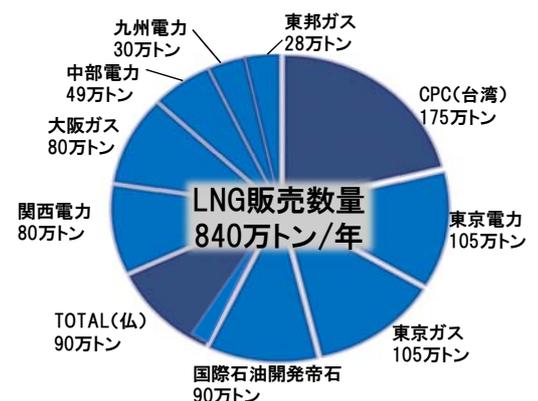
*当社権益比率66.07%ベース

**内、2.625%権益については、台湾CPCに譲渡手続き中。

- マーケティング: LNG年間予定生産数量840万トンの全量の売買契約締結済
- 主要許認可: 環境、ガス輸送パイプラインのライセンス、生産ライセンス等全て取得済
- 開発投資額: 340億米ドル(プロジェクト100%)
- ファイナンス: 2012年12月、総額200億米ドルのプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約に調印
- 開発作業: 主要EPC契約締結済

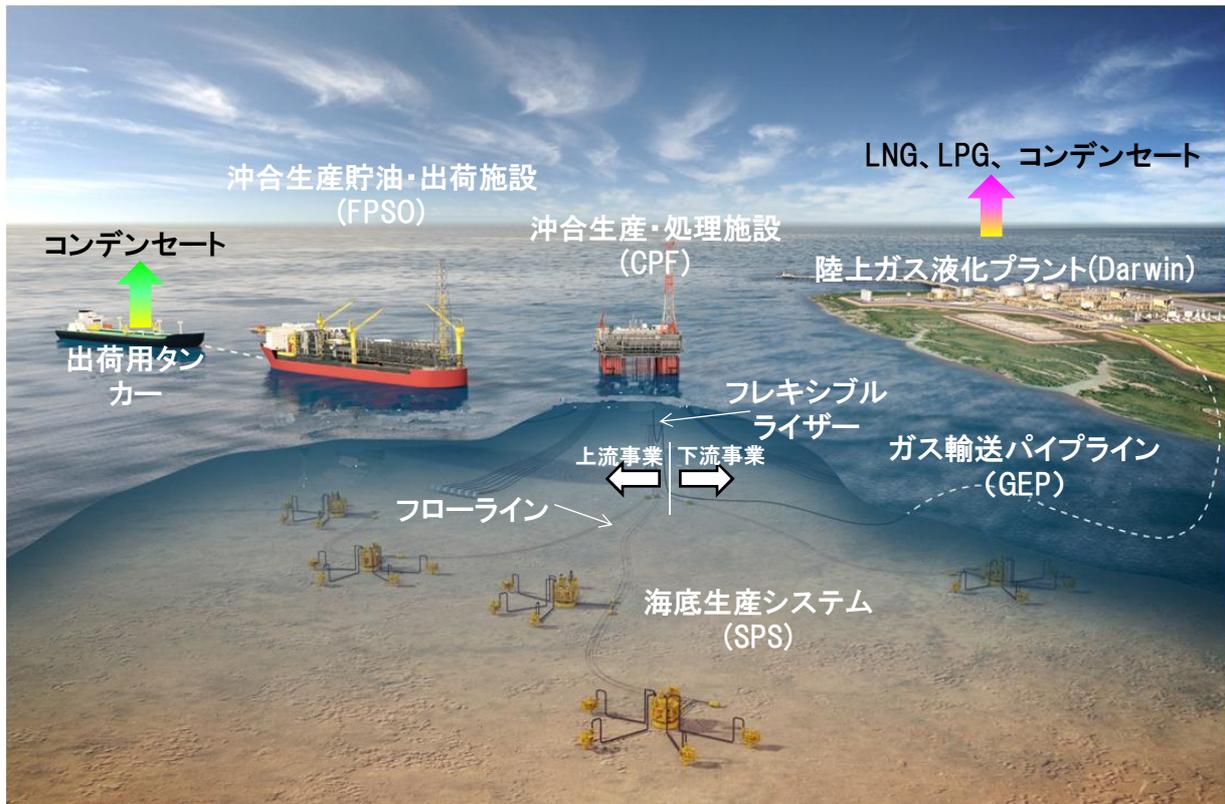
- 上流事業**
- 沖合生産・処理施設(CPF): Samsung Heavy Industries(韓)
 - 沖合生産貯油・出荷施設(FPSO): Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering(韓)
 - 海底生産システム(SPS): GE Oil & Gas(米)
 - フローライン、フレキシブルライザーなどの接続作業等: McDermott(米)
- 下流事業**
- 陸上LNGプラント: 日揮、千代田化工、KBR社(米)の企業連合
 - ガス輸送パイプライン(GEP): Saipem(伊)・三井物産・住友商事・メタルワン
 - ダーウィン湾内浚渫作業: Van Oord(蘭)
 - 計装・制御システム: 横河電機(上流施設も含む)

スケジュール

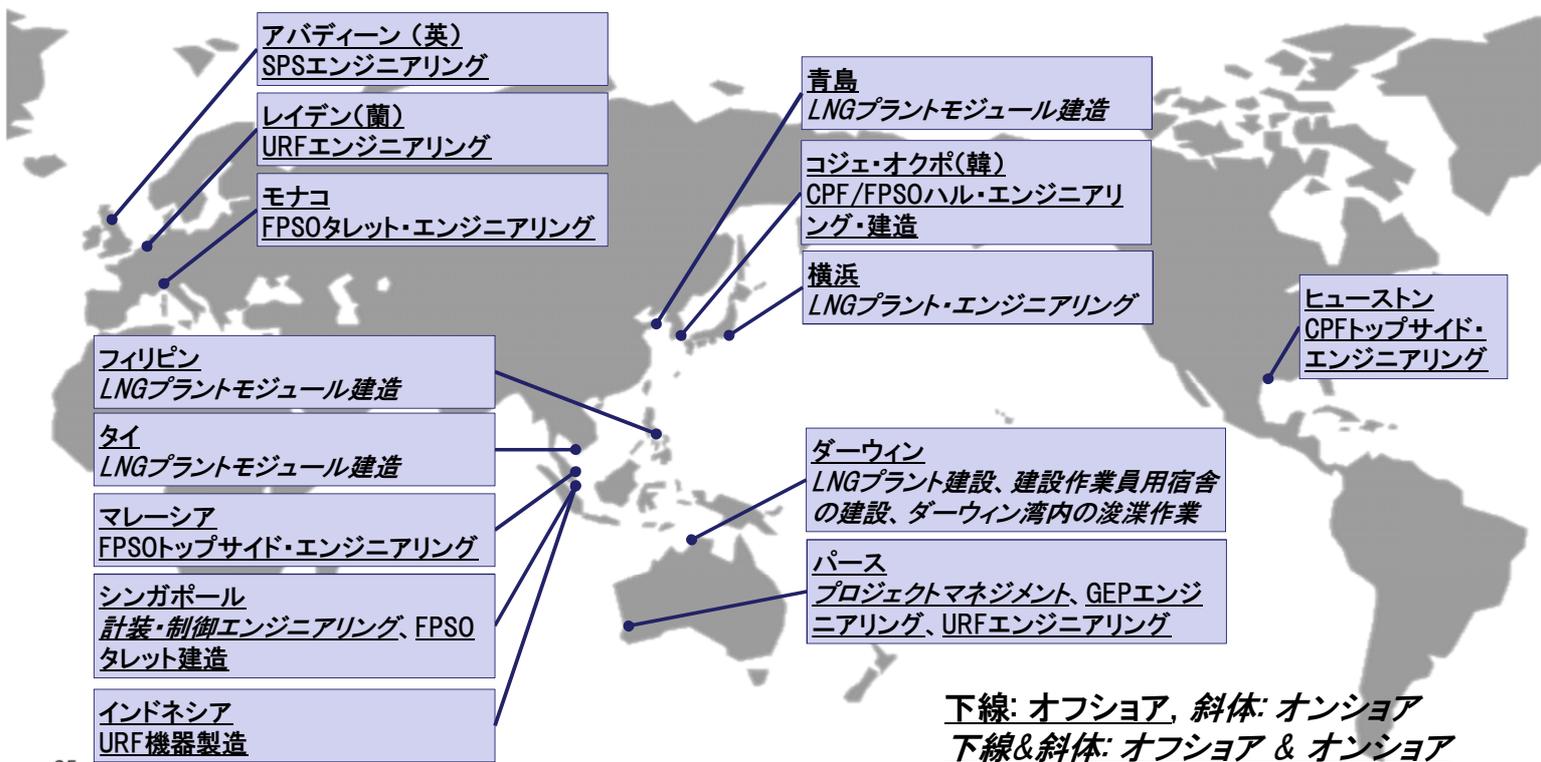


→プロジェクトから生産されるLNGの7割相当が日本に仕向け

イクシスLNGプロジェクトの開発コンセプト



現在、作業が進んでいる主なプロジェクト拠点





陸上ガス液化プラント用
モジュールの建造
(中国にて)

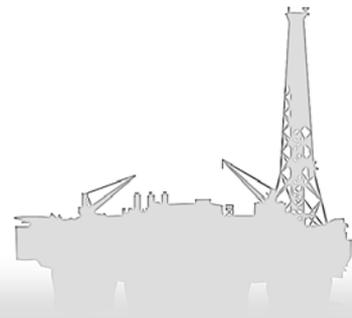


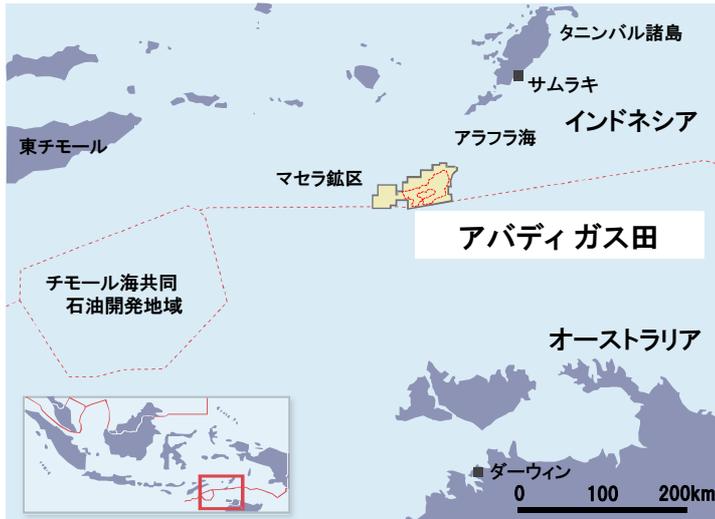
26

プロジェクトの特徴・強み

- ガスに加えてコンデンセート・LPGが豊富
- TOTALとの協力体制
- FEED期間延長による十分な準備期間
 - 十分なエンジニアリング
 - コスト見積の精度向上
- 信頼性の高いEPCコントラクター契約済
- 高いランプ・サム契約比率(契約額の約75%)
- LNG全生産量売買契約締結済
- プロジェクトファイナンス調印
- 陸上・沖合各施設の建設工事に関する損害保険手配完了

- コスト超過リスクへの対応
(安定的な経済性の確保)
- 遅延リスクへの対応
- 着実なプロジェクト遂行への万全なる準備

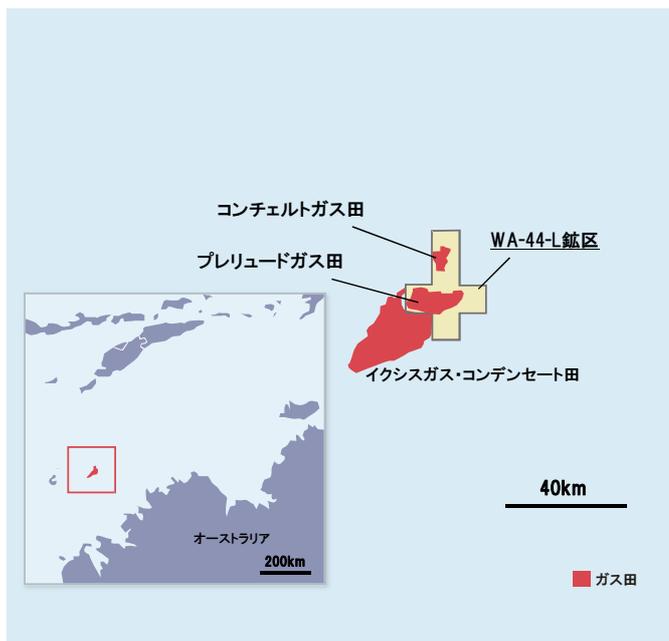




- 2012年11月に海底生産施設の基本設計 (FEED)作業開始。2013年1月にFLNGのFEED作業開始。
- 環境社会影響評価(AMDAL)の手続き中
-2013年中にAMDALレポートを完成させ、環境省よりAMDALの最終承認を取得予定
- Shellとの戦略的パートナーリング
-Shellによる技術・人的支援の有効活用
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をインドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲渡する予定
- PS契約: 2028年まで
- ガス田埋蔵量/追加開発のための取り組み
-FEED開始を受け、推定埋蔵量に格上げ(2013年3月末当社埋蔵量評価)
-2013年6月より評価井3坑、試掘井1坑の掘削開始

プレリウドFLNGプロジェクト

INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd



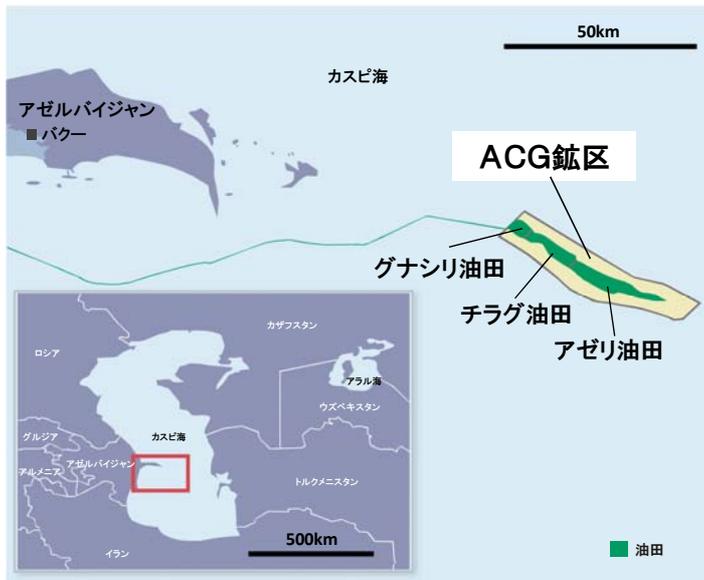
- 権益比率: 17.5%(オペレーター: Shell)
- 埋蔵量: 天然ガス約3兆cf (プレリウドガス田およびコンチェルトガス田)
- 生産量:
 - ・LNG 年間360万トン
 - ・LPG 年間約40万トン
 - ・コンデンセート 日量約3.6万バレル(ピーク時)
- 2011年5月に最終投資決定
- 2007年初めのプレリウドガス田発見からおおよそ10年での生産開始を目標



FLNG船イメージ

ACG油田 インペックス南西カスピ海石油

INPEX



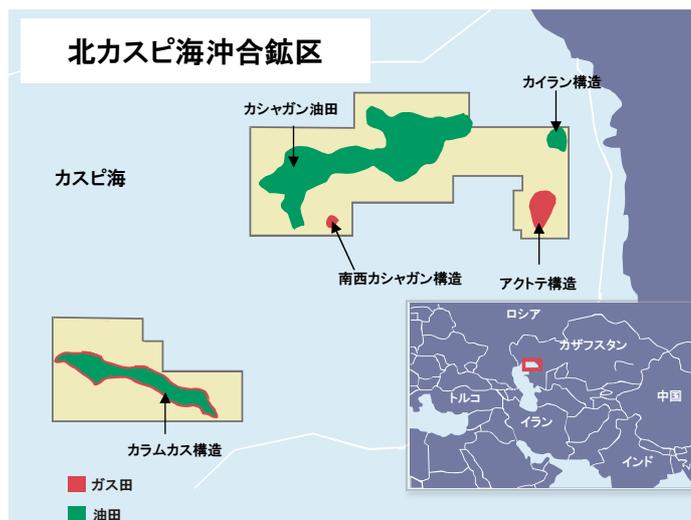
- 当社権益比率: 10.9644%(オペレーター: BP)
- 生産量*: 日量約63.1万バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田1997年生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部2008年4月に生産開始
- 2010年3月、追加開発(Chirag Oil Project、(COP)の政府承認(2013年末生産開始予定)

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

30

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: カシャガン油田 - 2021年末まで*
- カラムカス/アクトテ/カイラン/南西カシャガンの4構造の評価作業を実施中
- カシャガン油田(Experimental Program)
 - 生産開始: 2013年9月
 - 原油生産量: 日量約1万バレル**
 - 原油生産量目標: 日量ピーク37万バレル
 - 追加計画: 日量ピーク45万バレル目標

*現行のPSA条件にて10年×2回の延長(2041年まで)が可能

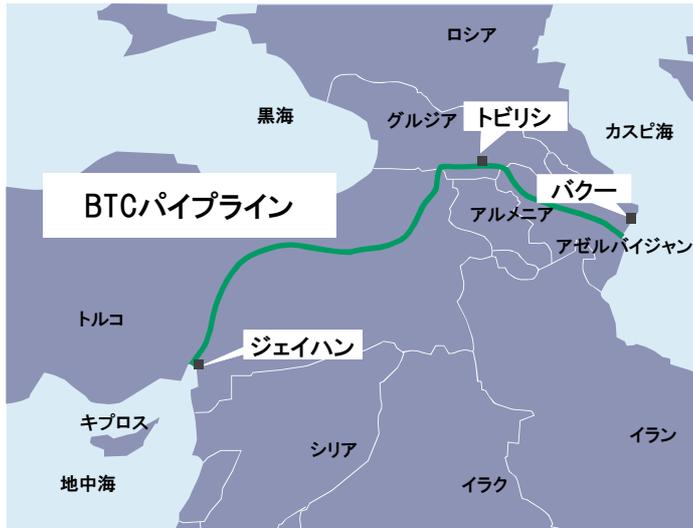
** 全鉱区ベース、2013年9月の平均日産量

31

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト

INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX

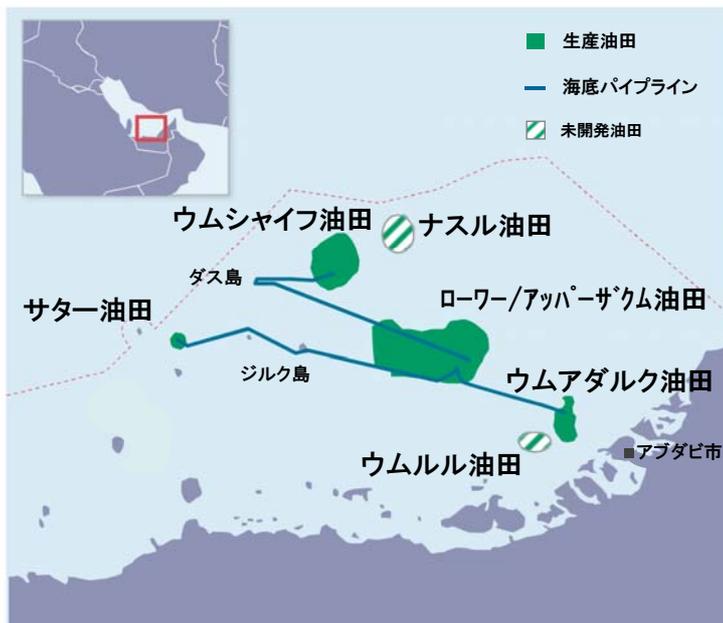


- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成

ADMA鉦区

ジャパン石油開発(JODCO)

INPEX

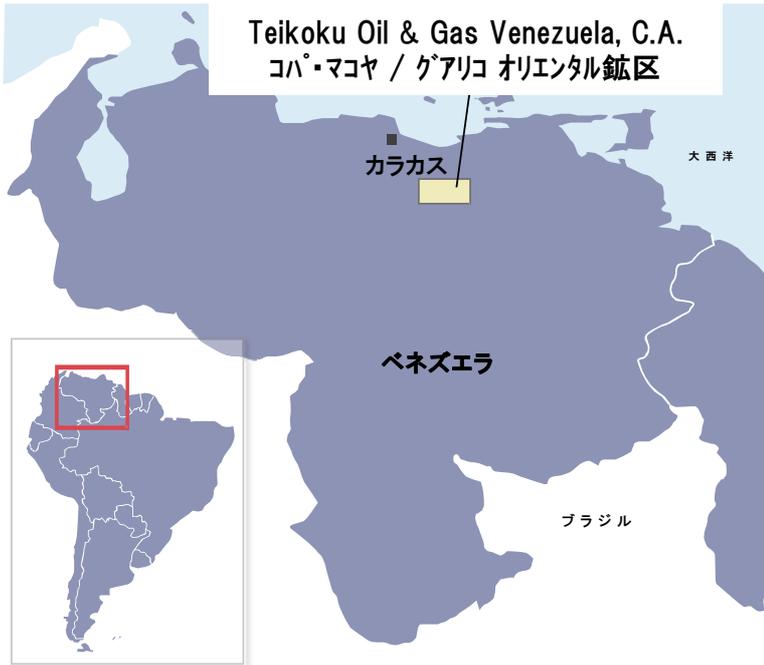


- ウムシャイフ/ローワーザクム油田
 - ・当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)
 - アッパーザクム/ウムアダルク/サター油田
 - ・当社権益比率:
 - アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%
 - サター 40.0%(オペレーター: ZADCO*)
- *アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
 - ・未開発油田(ウムルル/ナスル)の早期生産を目的とした開発作業実施中
 - ・人工島を利用した再開発計画に基づく作業実施中(アッパーザクム)

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

INPEX



- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル 鉱区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ ガス事業:70%、原油事業:30%
 - ジョイントベンチャー契約
 - ・ 2006-2026年
 - 生産量*
 - ・ ガス: 日量約57百万立方フィート
 - ・ 原油: 日量約1千バレル

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

ブラジル プロジェクト

フラージ 鉱区ほか

INPEX



- フラージ 鉱区(Frاده Japão Petr óleo Limitada (FJPL))
- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)
 - *持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
 - 生産量**:
 - ・ 原油: 日量約2万バレル
 - コンセッション契約: 2025年まで

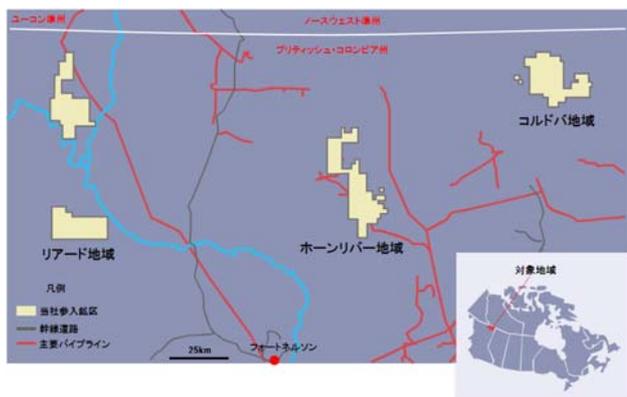
- BM-ES-23 鉱区
- 当社権益比率:15%
 - 探鉱作業中

** 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

カナダ シェールガスプロジェクト

INPEX Gas British Columbia Ltd.

INPEX



ホーンリバーにおけるフラクチャリング作業現場

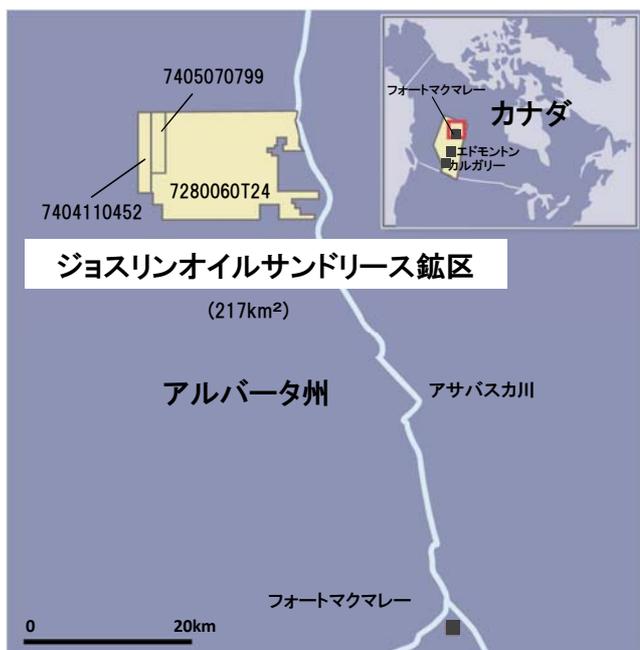
- 権益比率:40%* (オペレーター:Nexen)
 - ・ INPEX Gas British Columbia Ltd. (出資比率:当社45.09%、JOGMEC44.89%、日揮㈱のカナダ法人子会社 10.02%)の権益比率。
- 生産量**
 - ・ ガス: 日量約96百万立方フィート
- コンセッション契約
 - ・ ホーンリバー: 366km²
 - ・ コルドバ: 333km²
 - ・ リアード: 517km²
- 今後、本格的な開発作業を進め、ホーンリバーとコルドバ地域合わせて、日量12.5億立方フィート(原油換算で日量約20万バレル)規模の生産を目標
- ホーンリバー地域:2010年生産開始
- コルドバ地域:2019年生産開始予定

** 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

ジョスリン オイルサンドプロジェクト

インペックスカナダ石油

INPEX

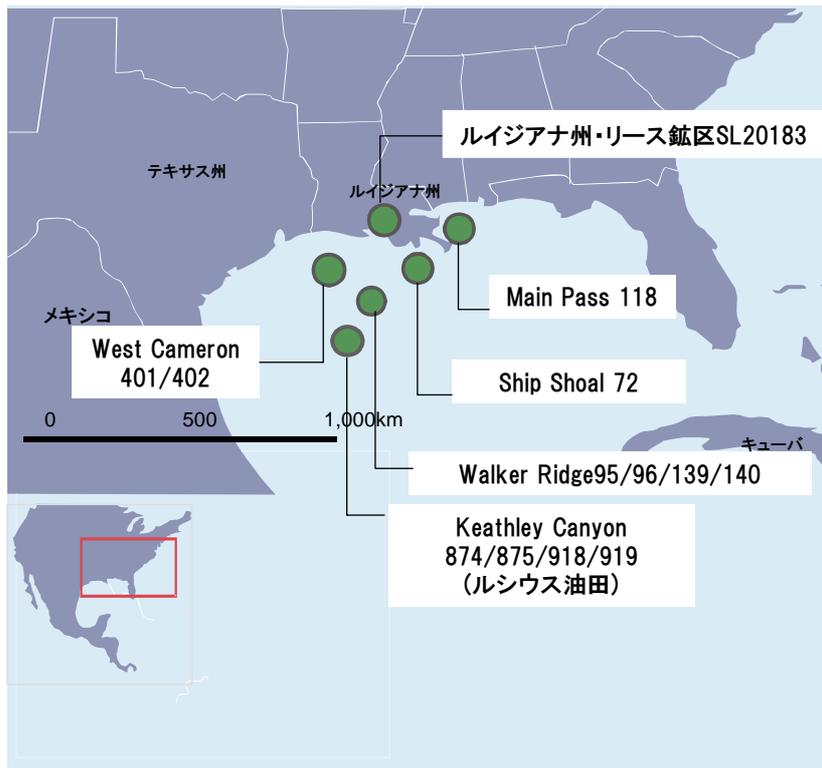


ジョスリンオイルサンドリース鉱区 位置図

- 当社権益比率:
 - ・ 上流開発プロジェクト 10%(オペレーター:TOTAL)
- リース契約(3鉱区の合計約220km²)
 - ・ 7280060T24: 無期限
 - ・ 7404110452: 2004年11月より15年間のprimary lease*
 - ・ 7405070799: 2005年7月より15年間のprimary lease*
- *延長可能
- 上流開発プロジェクト:
 - ・ 2010年代後半までに、露天掘り開発により、日量10万バレルの生産を計画(第一段階)、その後、日量20万バレルまで拡大予定(第二段階)
- 改質プロジェクト:
 - ・ 今後の対応を検討中

米国メキシコ湾 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX Gulf of Mexico Co., Ltd. **INPEX**



*Ship Shoal72、West Cameron401/402、Main Pass 118、ルイジアナ州・リース鉱区SL20183の全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

浅海海域鉱区

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- 当社権益比率
 - ・ Ship Shoal 72 : 25%、West Cameron 401/402 : 25%、Main Pass 118 : 16.67%
 - ・ ルイジアナ州・リース鉱区SL20183:25%
- コンセッション契約
- 生産量*
 - ・ ガス: 日量約8百万立方フィート
 - ・ 原油: 日量約1千バレル

大水深プロジェクト

(INPEX Gulf of Mexico Co., Ltd.)

- 当社権益比率:ウオーカー・リッジ鉱区15%
- コンセッション契約

ルシウス油田

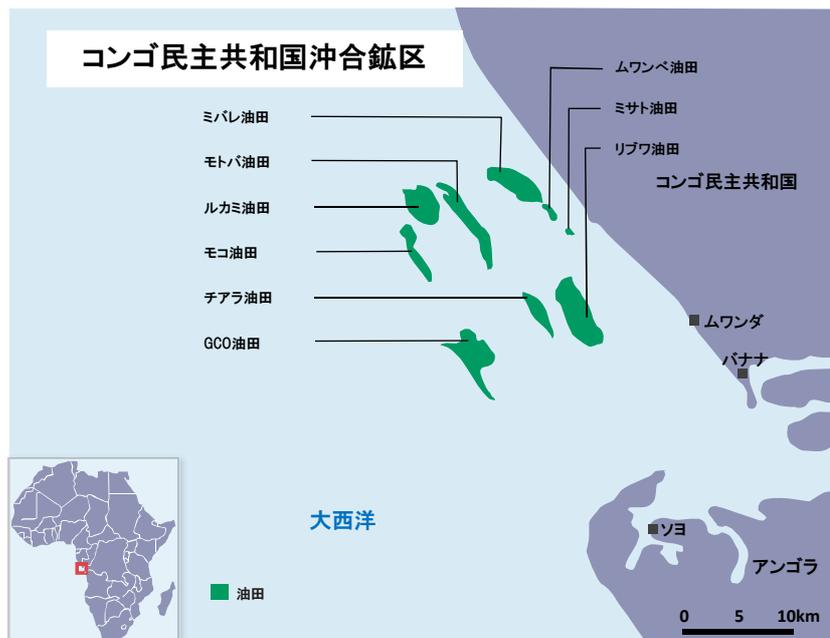
(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- 当社権益比率:7.2%
- コンセッション契約
- 2011年12月、開発移行決定、2014年後半に原油及び天然ガス生産開始予定

コンゴ民主共和国沖合鉱区

帝石コンゴ石油

INPEX



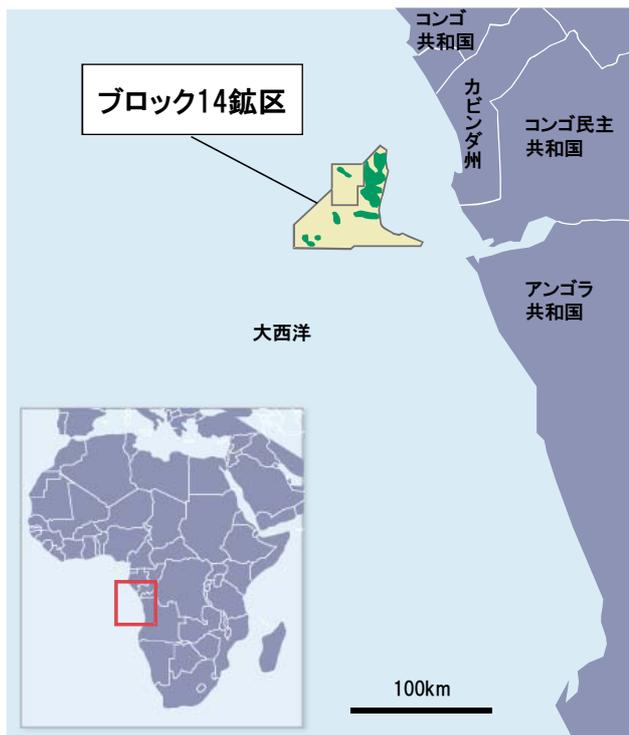
- 当社権益比率:32.28% (オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始:1975年
- 生産量*:日量約1.4万バレル

* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区

INPEX Angola Block14 Ltd.

INPEX



- 当社権益比率:9.99%(オペレーター: Chevron)
- 生産量*: 日量約13.8万バレル
- PS契約: 2035年まで
- 今後、探鉱活動や既発見未開発構造の開発を進める予定

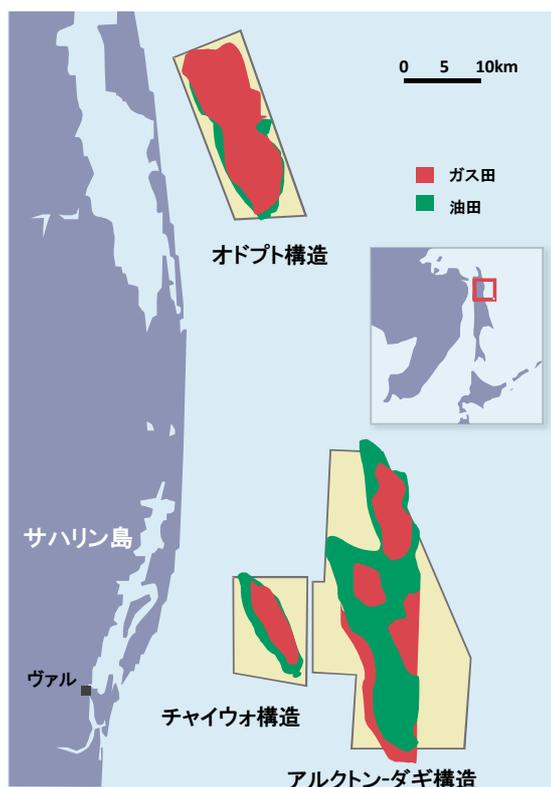
* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

40

サハリン I

サハリン石油ガス開発

INPEX



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式約6.08%
- SODECOのサハリン I における権益比率: 30.0%
- 生産量*
 - ・原油・コンデンサート 日量約14.0万バレル
 - ・ガス 日量約204百万立方フィート**
- オペレーター: ExxonMobil
- PS契約: 2001年12月、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月、チャイヴォ構造より生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプト構造より生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中。さらに中国等へ輸出を検討中

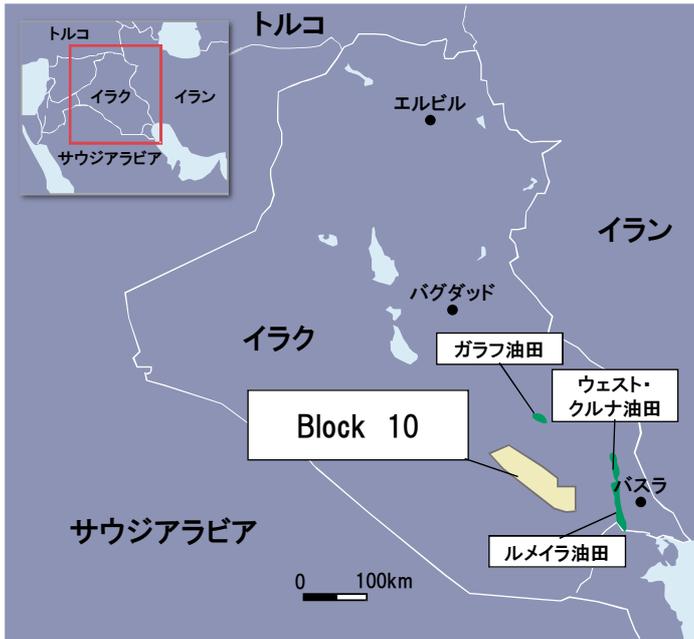
* 全鉱区ベース、2013年9月平均日産量

**販売量を記載。

41

イラク共和国 ブロック10鉦区 インペックス南イラク石油

INPEX



- 当社権益比率:40%(オペレーター:Lukoil)
- 2012年11月、Lukoil子会社と共同でサービス契約締結。当社は40%権益を保有。
- 今後、地震探鉦データ収録や試掘井掘削等の探鉦作業を実施予定

42

主要会社一覧及び石油契約①*

INPEX

会社名	鉦区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	生産中
アジア/オセアニア					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉦区	インドネシア	PS	-	生産中
・インペックス南マカッサル石油	セブク鉦区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	生産中
・ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉦区	インドネシア	PS	100%	生産中
・MI Berau B.V.	ベラウ鉦区(タンゲー-LNG)	インドネシア	PS	44%	生産中
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉦区(アバディ)**	インドネシア	PS	51.9%	開発準備作業中
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P**	オーストラリア	コンセッション	100%	探鉦作業中
・INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-50-L(イクシス) **	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	66.07%***	開発中
・INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	プレリユードFLNGプロジェクト	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・インペックスチモールシー	キタン油田	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・アルファ石油	ヴァンゴツホ油田/コニストンユニット	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中/開発中
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中

注: * 2013年10月末時点

** オペレータープロジェクト

***当社イクシスLNGプロジェクト保有権益(プロジェクト全体の66.07%)のうち、2.625%の権益比率については台湾CPCへの譲渡手続き中であり、譲渡契約発効のための先行条件充足前の当社権益比率を記載

43

主要会社一覧及び石油契約②*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	生産中
中東					
・ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・インペックス南イラク石油	ブロック10鉱区	イラク共和国	サービス	100%	探鉱作業中
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
・INPEX Angola Block14	アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区	アンゴラ共和国	PS	100%	生産中/開発中
米州					
・インペックスカナダ石油	ジョスリンオイルサンドリース鉱区	カナダ	コンセッション	100%	開発準備作業中
・INPEX Gas British Columbia	カナダ シェールガスプロジェクト	カナダ	コンセッション	45.09%	生産中/評価中
・テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパ・マコヤ**/グアリョオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
・Teikoku Oil (North America)	SS72鉱区等/ルシウス油田	米国	コンセッション	100%	生産中/開発中
・Frade Jap ã o Petr3leo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5***	生産中

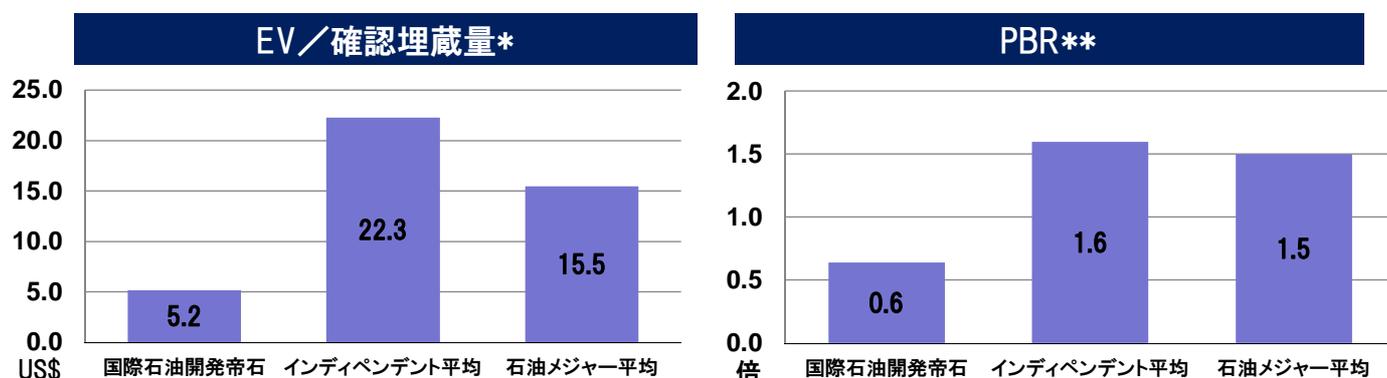
注: * 2013年10月末時点

** オペレータープロジェクト

44 *** インペックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。



その他



* EV(企業総価値)/確認埋蔵量=(時価総額+総有利子負債-預金及び現金同等物+少数株主持分)/確認埋蔵量。時価総額は2013年9月30日時点、財務数値は、当社は2013年9月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2013年6月末時点数値を使用。また、確認埋蔵量は、当社は2013年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2012年12月末時点数値を使用。財務数値、確認埋蔵量は各社開示資料より。

** PBR = 株価 / 一株当たり純資産。時価総額は2013年9月30日時点、財務数値は、当社は2013年9月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2013年6月末数値を使用。財務数値は各社開示資料より。

中長期ビジョン

3つの成長目標と今後5年間の重点的取り組み

1. 上流事業の持続的拡大
→2020年代前半にネット生産量日量100万バレル
2. ガスサプライチェーンの強化
→2020年代前半に国内ガス供給量25億m3
3. 再生可能エネルギーへの取り組み強化
→研究開発、事業化への取り組み

3つの基盤整備と目指す企業像

1. 人材の確保、育成と効率的な組織体制の整備
2. 成長のための投資と適切な株主還元
3. グローバル企業としての責任ある経営

総額約3.5兆円

イクシス、アバディ、その他探鉱開発プロジェクト等に対する
5年間（2013年3月期～2017年3月期）の投資額

手元資金

- 手元活用可能資金1.5兆円
(2013年9月末現在)

キャッシュフロー

- 毎年の営業キャッシュ・フロー
(参考：2013年3月期実績 2,523億円)
- 手元の現金及び現金同等物

銀行借入

- JBIC*及び市中銀行からの借入
- 市中銀行借入の一部に対するJOGMEC**による保証
- プロジェクト・ファイナンス

* JBIC： 国際協力銀行、**JOGMEC： 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

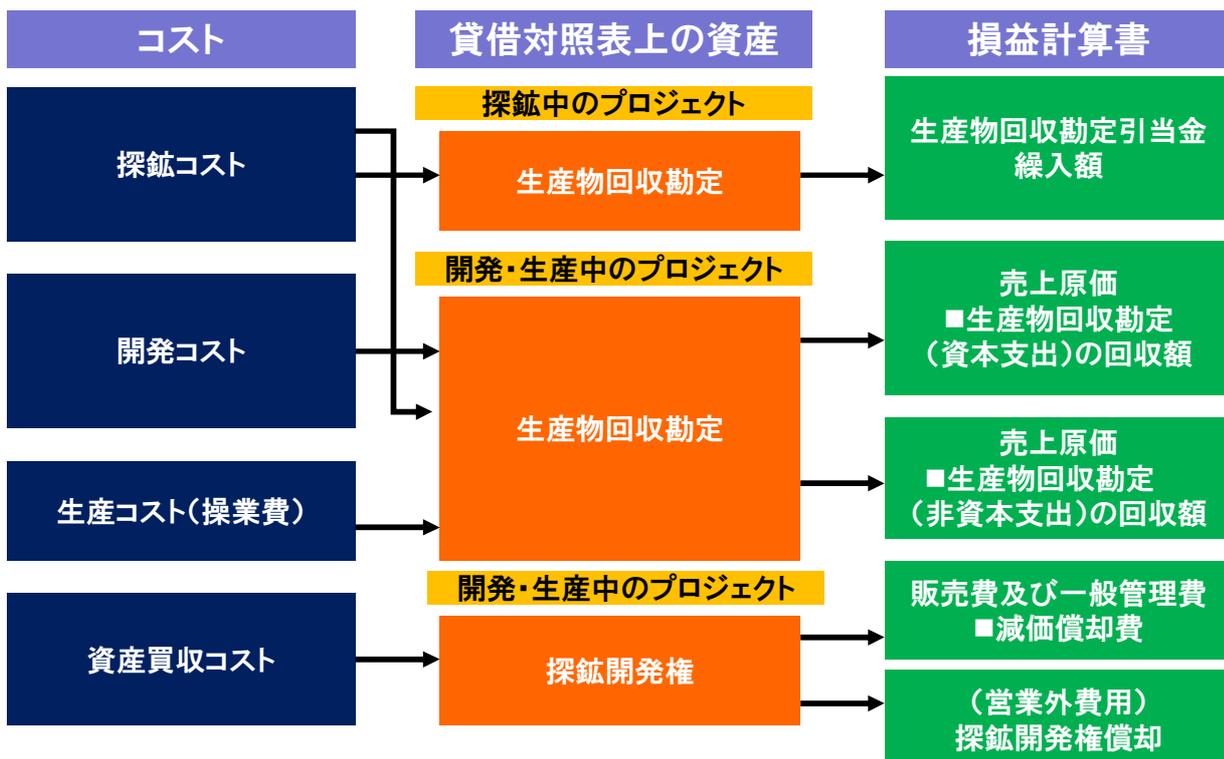
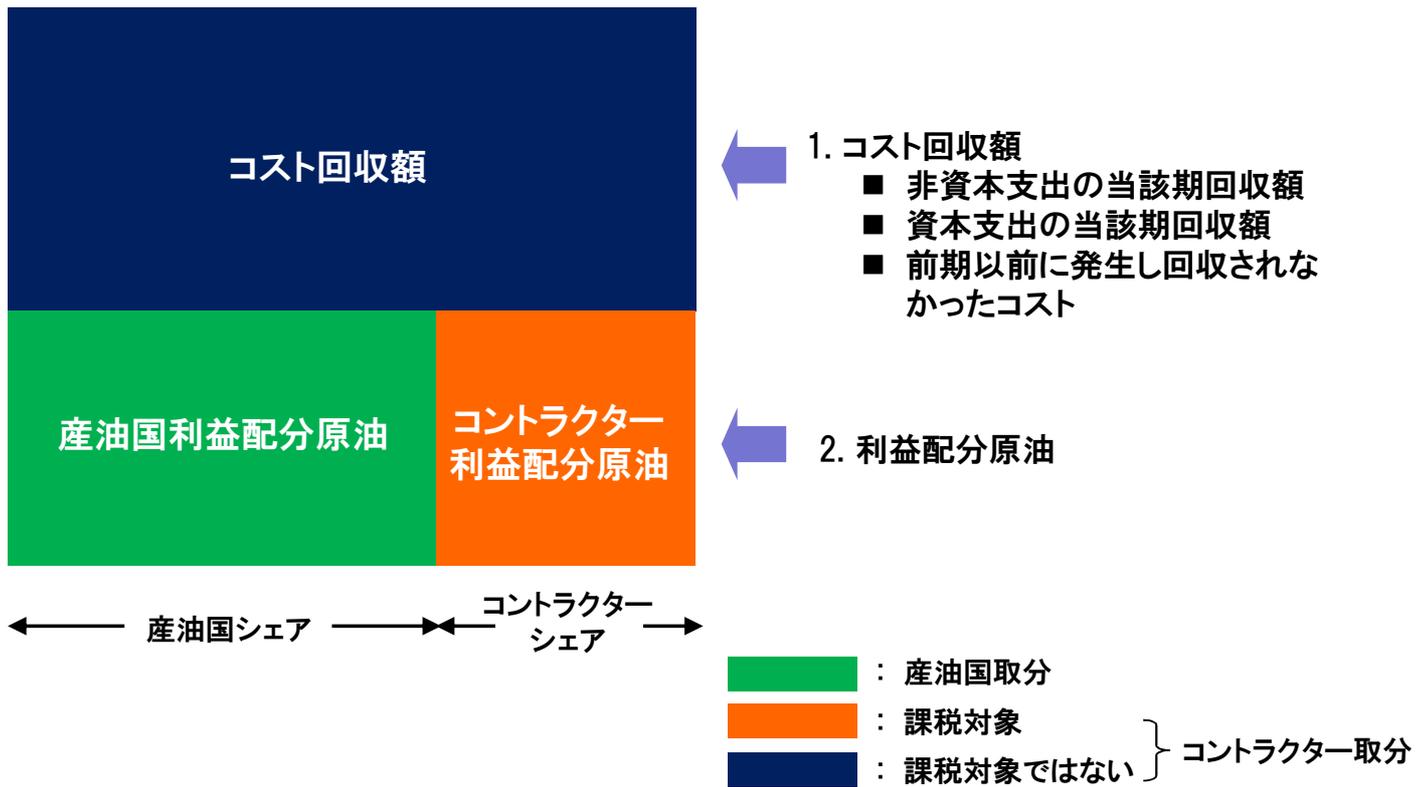
財務戦略

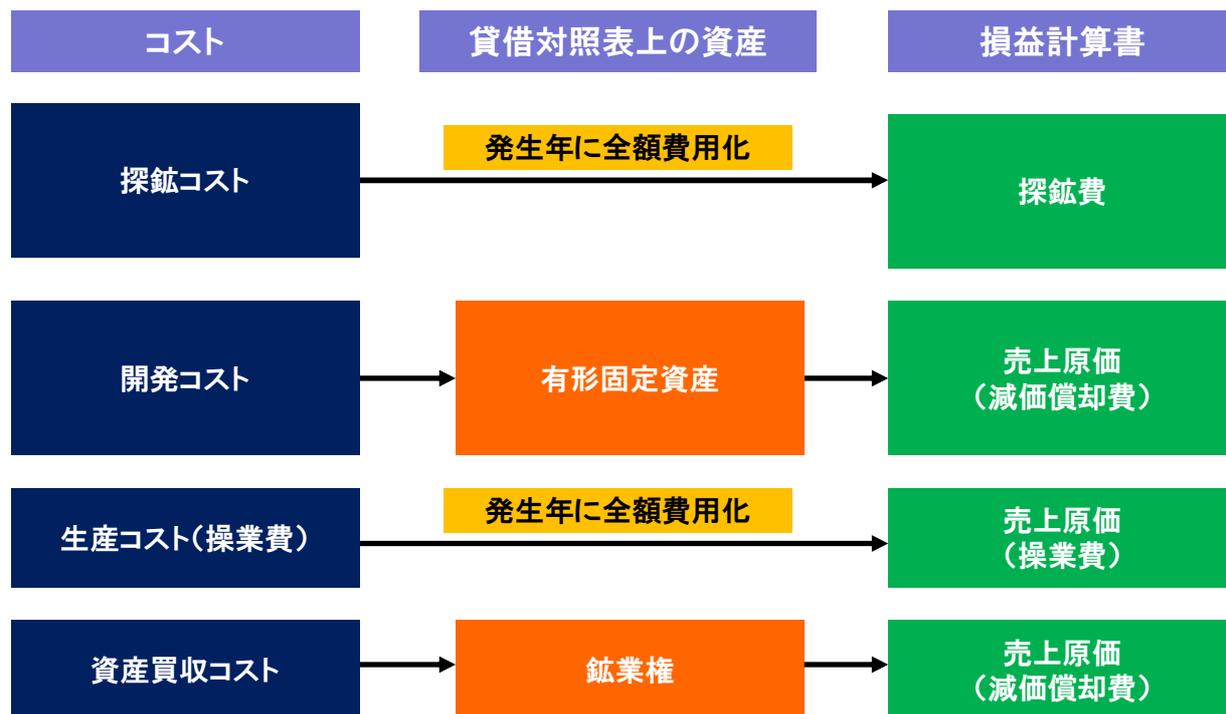
低コストでの有利な資金調達

健全なバランス・シートを維持し、
資金調達の安定性と柔軟性を確保

JBIC及びJOGMECの制度金融の
活用により開発資金を調達

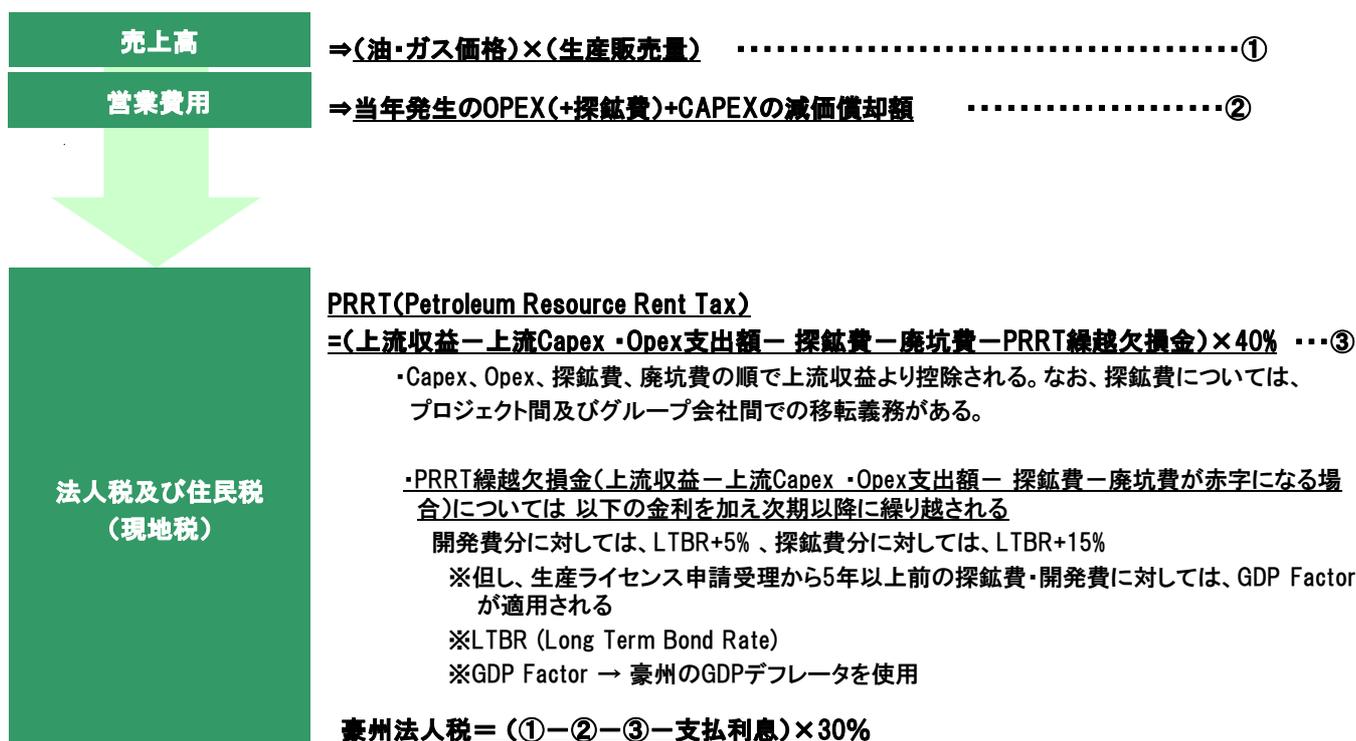
- イクシス、アバディ等に必要な投資を確実にするための資金調達力を維持
- 将来の新規プロジェクトへの継続的な投資を実現するために、健全なバランス・シートを維持
- 長期的財務レバレッジ水準(目標値)
 - 自己資本比率:50%以上
 - 使用総資本に対する純有利子負債の比率:20%以下



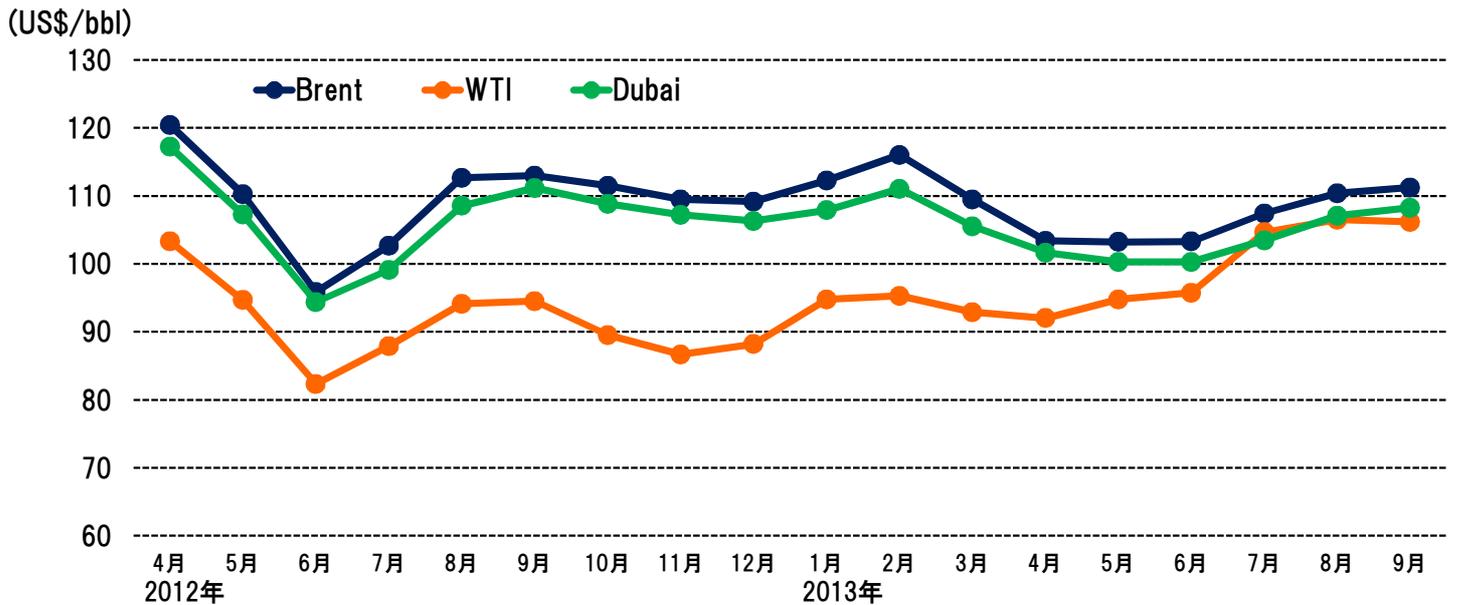


豪州税制の概要

※ 本スライドの記載内容については、今後税制の改正等に伴い変更の可能性があります。



原油価格の推移

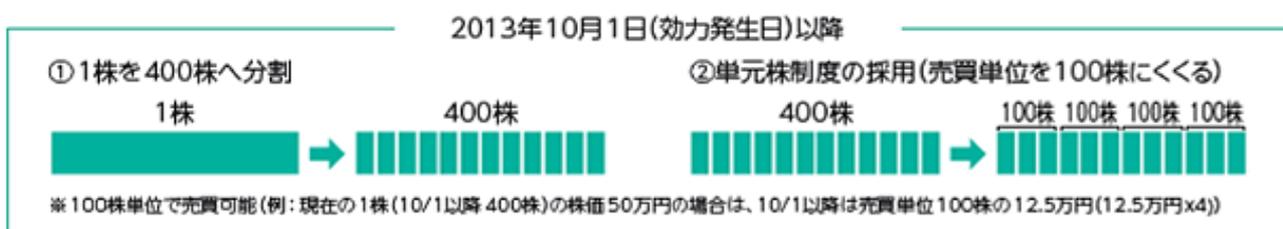


	2013年3月期 4-9月 平均	2013年3月期 通期 平均	2013年						2014年3月期 4-9月 平均
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
Brent	109.19	110.28	103.43	103.28	103.34	107.43	110.45	111.25	106.53
WTI	92.85	92.06	92.07	94.80	95.80	104.70	106.54	106.24	100.02
Dubai	106.33	107.09	101.68	100.33	100.32	103.52	107.11	108.28	103.54

54

株式分割及び単元株制度の採用

- 当社は2013年10月1日付で普通株式1株を400株に分割すると同時に単元株制度を採用し、普通株式の単元株式数を100株としました。
- 個人投資家の皆様をはじめとする幅広い投資家層の皆様が当社株式へより一層投資しやすい環境を整えることを目的としております。



55